

様式第20（第48条の3関係）

危険物保安監督者選任・解任届出書

		1 年 月 日	
2 殿		3 届 出 者	
		住所 _____ (電話 _____)	
		氏 名 _____	
4 設 置 者	住 所	電 話	
	氏 名		
製 造 所 等 の 別		5	貯蔵所又は取扱所の区分
設 置 の 許 可 年 月 日 及 び 許 可 番 号		7	
設 置 場 所		8	
区 分		選 任	解 任
9 危 険 物 保 安 監 督 者	氏 名		
	危 険 物 取 扱 者 免 状 の 種 類		
	選 任 ・ 解 任 日 年 月 日	年 月 日	年 月 日
※ 受 付 欄		※ 備 考	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

[危険物保安監督者選任・解任届出書記入要領]

1. 届出日（届出書提出日）を記入する。
2. あて先は、「東京消防庁 消防総監」と記入する。島しょ地区の場合は「東京都知事」と記入する。
3. 「届出者」欄は、設置者又は施設を管理使用している代表者の住所、氏名を記入する。法人の場合は、名称、代表者氏名及び事務所の所在地とする。
4. 「設置者」欄は、当該危険物施設の設置者の住所、氏名を記入する。法人の場合は、名称、代表者氏名及び事務所の所在地を記入する。
5. 「製造所等の別」欄は、製造所、貯蔵所又は取扱所の別を記入する。
6. 「貯蔵所又は取扱所の区分」欄は、危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを合む。）を記入する。製造所の場合は斜線により抹消する。
7. 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、当該危険物施設の設置許可年月日及び番号を記入する。
8. 「設置場所」欄は、当該危険物施設の所在地を記入する。
9. 「危険物保安監督者」欄は、選任又は解任した危険物保安監督者の氏名等を記入する。
一の様式で2以上の製造所等の危険物保安監督者の選任・解任の届出ができるものとし、この場合は、所定の記入欄に「別紙のとおり」と記入し、所定欄に記入すべき事項を別紙にまとめても差し支えない。

[実務経験証明書の記載例]

様式第5（第3条の5関係）

実務経験証明書

様式第5号（第3条の5関係）

実 務 経 験 証 明 書				
氏 名	(年 月 日生)			
取り扱った危険物	類 別	第 類	品 名	
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月)			
製造所等の区分 (該当するものを ○で囲むこと。)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。				
証明年月日	年 月 日			
事業所名				
所在地				
証 明 者	職 名			
	氏 名	印		
	電話番号	()		

(日本産業規格A列4番)

- a 実務経験は、危険物製造所等での経験に限られるものであるが、免状の交付を受けた後における実務経験のみに限られるものではない。
- b 期間は、6ヵ月以上でなければならない。
- c 6ヵ月以上の期間のとらえ方は、ブランクの期間があっても、設置者の異なる数か所の危険物製造所等であっても、合計して6ヵ月以上あれば差し支えない。
なお、後者の場合には、実務経験証明書は複数となる。
- d 平成元年3月以前に交付された取扱者免状を有する場合（取り扱うことができる免状区分に限る。）は、実務経験証明書は不要である。